

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 5 年 6 月 21日

公表: 令和 5年 7月 7日

事業所名 チャイルドウィッシュねくと

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	3	法令を遵守したスペースを確保しつつ、空間を最大限活用しています。	
	2	職員の配置数は適切である	9		法令が必要とされている職員配置に加え、指導員又は児童指導員を1名以上配置(常勤換算算定にて)しています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	5		屋内は段差もなく広いスペースではあるが、玄関前に段差があるのでスロープや手すりの設置を今後検討していかなくては、と考えています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	4	毎月の幹部会議、管理者会議、事業所会議を開催しています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	2		保護者様向けの評価表によるアンケートを活用し、業務改善に繋げていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7			法人で毎年更新・実施し、HPにて公開をしています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	3		法人内の他事業所間での内部監査や職員の見学体験の機会を設け、業務改善に努めています。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	1	本部研修、法人内研修を年間計画に沿って行っています。都度外部研修への参加もしています。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7		計画期間ごとにアセスメントをとった上で計画書を作成しています。	様々な方面からの視点を取り入れたアセスメントを使用しています。今後も課題を客観的に分析した上で計画書を作成出来る様に、職員が統一した認識を持つようにしていきたいと思えます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	1	法人内で統一したものを使用しています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	4		日々毎に学習課題や巧緻性を向上させる課題を用意したり、レクリエーションや事業所内の活動の中でプログラムが固定化しないように、計画書を基にしてお子様一人一人の様々な角度からの個別活動を立案し、支援をしていく事を目標としています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8	1		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4	3		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	1	朝礼を行い、職員情報共有ノートの活用をしています。	常勤・非常勤職員の中で担当分けが曖昧な部分があるので、明確に役割分担をし、より良い支援に繋げていく事を目標としています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	4	職員情報共有ノートの活用をしています。	支援終了後、送迎の無い職員間で振り返りを行っています。送迎後は時間が無い事があるので、情報共有ノートに必ず記載をし、情報共有が必ず行えられる体制を整えています。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			職員の主観ではなく計画書に添った支援内容を客観的に記録するように努めています。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7			日々の支援記録を通じて計画書の内容のモニタリングを行い、必要に応じて計画の見直しに努めています。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	6			ガイドラインをいつでも閲覧できる環境に置き、職員が常時確認できる体制を整えています。非常勤職員に徹底して行く必要があると考えています。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8			現在は児童発達支援管理責任者のみが参加をしていますが、今後は決まった職員だけでなく全員が参加出来るようにしていきたいと考えています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8		新規で送迎が発生する場合は都度学校に連絡をし、打ち合わせをしています。毎週の学校予定表の写しを頂いています。	学校によっては、情報共有が少ない学校もあるので、今後深めていきたいと思っています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4	3			現在受け入れはしていませんが、今後検討していかなくては、と考えています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	1			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6			連絡帳などを用いて状況提供ができる体制を整えてあります。	保護者様の許可を得てから情報を共有する等していく予定です。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	1		必要に応じて研修に参加しています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5	2		職員の子連れ出勤で、障がいのない子どもとの交流の機会を設けています。	児童館と交流する機会は、支援中の為に難しいですが、今後機会があれば交流していきたいと考えています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	5	1		年4回の事業所連絡会への参加を行っています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っている	7			送迎時に保護者様へお子様の様子をフィードバックをしています。その日の支援の様子をHUGシステムでも共有をしています。	送迎時に母親とは共通理解を深めていますが、父親にお会いする機会が少ないので、今後家族会などを企画し、お会いする機会を増やしていかなくては、と考えています。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	3		随時懇談会を行っています。		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6				契約時の説明内容に変更があった場合は都度送迎時等に保護者様に説明をし、ケース記録にも記載しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6			事業所内相談やパパママ会・日々のフィードバックの中で時間を設ける必要な助言と支援を行っています。	パパママ会など保護者様が参加出来る会を企画し、子育ての不安を軽減していきたいと思っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6			パパママ会を法人内で開催し、保護者様同士での交流の機会を設けています。	仕事などで会に参加出来されない保護者様に対しての対応を考え、全員参加が出来る様に努めていきたいと考えています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7				過去の苦情に関しても職員間で情報共有し、職員のスキルアップに繋げていきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7			定期的に通信を発行したり、SNSを利用し幅広く情報提供しています。	様々な制度や福祉事業所などについて今後も会報を通して伝えていくように、職員全体が知識を深めなくては、と考えています。
	35	個人情報に十分注意している	7			鍵付き書庫に保管しています。	書庫数に限りがある為、今後増やしていかなくてはと思います。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			大切な事は文書やメール等の形に残るようにしています。	手話などの意思伝達方法の取得を事業所全体で取り扱っていきたいと考えています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	5			現在は散歩時にゴミ拾いをしている最中などに地域の方達と挨拶を交わすぐらいなので、今後は開かれた事業所運営を目指していきたいと思っています。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	1		残念ながら保護者様に周知徹底とまでは至っていない現状である為、今後マニュアルを再整備し周知徹底していきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	1	半年に一回以上避難訓練を実施し、記録をしています。	火災・地震等災害以外にも変質者対策なども今後取り入れていく必要があると考えています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	1	マニュアルを元に研修を行っています。	どのような事が虐待に当たるのかを周知徹底していきます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6		研修を実施し、保護者様へは契約時に丁寧に説明しています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6		全てのお子様へのアレルギーの有無を確認しています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	1		ヒヤリハット事例が起こった際には、全職員に速やかに状況共有をし、ヒヤリハットの報告書を作成して常に確認を出来る様に保管してあります。